

○第4回 新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査 調査項目

1 【満足度(全員)】

満足度

1-1全体としての生活の満足・不満の程度についてお聞きします。「全く満足していない」を0点、「非常に満足している」を10点とすると、現在の生活は何点くらいになると思いますか。

Q1-2～1-6

「全く満足していない」を0点、「非常に満足している」を10点とすると、以下の項目について、現在はそれぞれ何点くらいになると思いますか。

1-2あなたの「健康状態」に関する満足度

1-3あなたの「仕事」に関する満足度

(※)仕事には、収入を伴う仕事だけでなく、学業・家事・介護・育児・買い物などの義務的な時間を含む。

1-4あなたの「子育てのしやすさ」に関する満足度

1-5あなたの「交友関係やコミュニティなど社会とのつながり」に関する満足度

1-6あなたの「生活の楽しさ・面白さ」に関する満足度

<全員>

2 事前Q

2-1 居住地

①お住まいの都道府県(47都道府県プルダウン)

②お住まいの市区町村名()

2-2 あなたが同居している方を全て選んでください。あなたとの関係(続柄)でお答えください。

1. 誰とも同居していない(一人暮らし)
2. 配偶者
3. 18歳未満の息子・娘
4. 18歳以上の息子・娘
5. 父母(配偶者の父母を含む)
6. 祖父母(配偶者の祖父母含む)
7. 孫

8. 兄弟・姉妹(配偶者の兄弟・姉妹含む)
9. その他(具体的に)

(前問で2(配偶者)と回答した者を除く)

2-3 あなたの婚姻状況をお答えください。

1. 未婚
2. 既婚
3. 離別
4. 死別

<息子・娘が18歳未満(Q2-2で「3」を選択)>

2-4あなたの子供(令和3年4月1日時点で18歳未満の方)について教えてください。

①18歳未満の子供の人数

②子供の生年月を一人目から(年齢の高い順に)回答してください。

③子供の学校等を回答してください

生年月	学校等	
プルダウン選択②		
	プルダウン③選択肢 A (0~6歳相当) 1. 未就園 2. 保育園・幼稚園等	プルダウン③選択肢 C(高1~高3相当) 1 公立高校(高専) 2 私立高校(高専) 3 専門学校 4 働いている 5 その他
	プルダウン③選択肢 B (小1~中3) 1 公立 2 私立	

※1 ②の入力欄は、①で入れた人数のみ最初から表示

※2 学校の区分は、3、小学校~5. 高校(高専)を選択した場合のみ表示

プルダウン選択肢② 1 2003年4月~2004年3月(高3相当) 2 2004年4月~2005年3月(高2相当) 3 2005年4月~2006年3月(高1相当) 4 2006年4月~2007年3月(中3) 5 2007年4月~2008年3月(中2) 6 2008年4月~2009年3月(中1) 7 2009年4月~2010年3月(小6) 8 2010年4月~2011年3月(小5) 9 2011年4月~2012年3月(小4) 10 2012年4月~2013年3月(小3) 11 2013年4月~2014年3月(小2) 12 2014年4月~2015年3月(小1) 13 2015年4月~2016年3月(6歳相当) 14 2016年4月~2017年3月(5歳相当) 15 2017年4月~2018年3月(4歳相当) 16 2018年4月~2019年3月(3歳相当) 17 2019年4月~2020年3月(2歳相当) 18 2020年4月~2021年3月(1歳相当) 19 2021年4月以降(0歳)
--

<全員>

2-5 あなたの職業・学業について、主なもの1つを選んでください。

※非正規雇用の方は、勤め先での呼称により選択肢を回答してください。

1. 正規雇用(労働契約の期間の定めがなく、労働時間がフルタイムのもの)
2. 契約社員・嘱託社員・派遣社員等の非正規雇用
3. パート・アルバイト等の非正規雇用
4. 会社などの役員
5. 自営業(手伝いを含む)
6. 内職・在宅ワーク
7. 学生(高校生、専門学校生、短大生、大学生、大学院生等)
8. 無職(求職中)
9. 無職(求職していない)

<以下、就業者(前問で「1」～「6」と回答した人)への質問>

3 【働き方(就業者への質問)】

3-1 働き方に関する意識の変化についてお聞きします。新型コロナウイルス感染症(以下、感染症という)拡大前(2019年12月)に比べて、ご自身の「仕事と生活のどちらを重視したいか」という意識に変化はありましたか。

1. 感染症拡大前よりも、生活を重視するように変化
2. 感染症拡大前よりも、仕事を重視するように変化
3. 変化はない
4. わからない

3-2 感染症拡大前(2019年12月)に比べて、職業選択やその希望は変化しましたか。該当するもの全てに回答してください。

1. 変化していない
2. まだ具体的ではないが将来の仕事・収入について考えるようになった
3. 希望する就業先や異動先が変化した
4. 副業を持った
5. 新たに副業を検討しはじめた
6. 転職した
7. 新たに転職を検討しはじめた
8. その他(具体的に)

9. わからない

(前問で1以外を選んだ人)

3-3職業選択やその希望が変化した理由は何ですか。重要なものから順に選んでください。

(最大3つ)

1. 感染症の影響下において収入が減少したから
2. 感染症の影響下において仕事のやりがいを感じづらくなったから
3. 感染症の影響下において仕事が多忙を極めたから
4. 感染症の影響下において仕事や勤務先企業の将来性に不安を感じたから
5. 感染症を契機に、人口過密な地域を離れたいと考えたから
6. 感染症を契機に、「仕事と生活のどちらを重視したいか」という意識が変化したから
7. 感染症を契機に、新たなチャレンジを試してみたいと考えたから
8. その他、感染症に関係する理由
9. 感染症と関係無い理由
10. 特になし

(前々問で「6」を選んだ人)

3-4転職をした企業を選択した理由としてあてはまるものを全て回答してください。

1. 大企業であること
2. 中小企業であること
3. 今後の成長が見込まれる企業であること
4. 堅実な経営をしている企業であること
5. 採用時の給料(新規採用の場合は初任給)が高いこと
6. 女性や若手が幹部として登用されていること
7. SDGs(環境、人権、社会貢献等)に力を入れていること
8. テレワークがしやすい(テレワークに積極的である)こと
9. 育児休業が取得しやすいこと
10. 自分が成長できそうなこと
11. 社会的な評価、評判が良いこと
12. その他
13. 該当するものは特になし

14. 転職先は企業ではない

テレワーク等

3-5 あなたの現在の働き方として該当するもの全てに回答してください。

※「1」～「4」は、いずれか1つのみを回答可とする

1. テレワーク(ほぼ 100%)
2. テレワーク中心(50%以上)で、定期的に出勤を併用
3. 出勤中心(50%以上)で、定期的なテレワークを併用
4. 基本的に出勤だが、不定期にテレワークを利用
5. 週4日、週3日などの勤務日制限
6. 時差出勤やフレックスタイムによる勤務
7. 特別休暇取得などによる勤務時間縮減
8. 休業(自宅待機等を含む)
9. その他(具体的に)
10. いずれも実施していない

3-6 感染症拡大後、あなたの職場において、テレワークのための業務改善として取り組まれたものについて、あてはまるものを全て回答してください。

1. テレワークできない又は合わない職種である(対面サービス、製造、輸送、建設工事等)
2. 社内の打合せや意思決定の仕方の改善
3. 顧客や取引先との打合せや交渉の仕方の改善
4. 社内外の押印文化の見直し
5. 書類のやりとりを電子化、ペーパーレス化
6. 現金を重視した手続き、習慣の見直し
7. 社内システムへのアクセス改善
8. 仕事の進捗状況の確認や共有の仕方の改善
9. その他(具体的に)
10. 特になし
11. わからない

<テレワークを実施した者(前々問で「1」～「4」のいずれかを回答)>

3-7 あなたの職場において、テレワークで不便な点と考えられるものに関し、重要なものから順に回答してください。(最大3つ)

1. テレワークできない又は合わない職種である(対面サービス、製造、輸送、建設工事等)
2. テレビ通話の質の限界(タイムラグ、音声や映像の乱れ等)
3. 取引先等とのやりとりが困難(機器、環境の違い等)
4. 機微な情報を扱い難いなどのセキュリティ面の不安
5. 通信費の自己負担が発生
6. 社内での気軽な相談・報告が困難
7. 画面を通じた情報のみによるコミュニケーション不足やストレス
8. 大勢で一堂に会することができない
9. 在宅では仕事に集中することが難しい住環境
10. 同居する家族への配慮が必要
11. 仕事と生活の境界が曖昧になることによる働き過ぎ
12. その他(具体的に)
13. 特になし

3-8 今後、どの程度の頻度でテレワークを利用したいですか。

1. 完全にテレワーク
2. テレワーク中心(50%以上)で、定期的に出勤を併用
3. 出勤中心(50%以上)で、定期的なテレワークを併用
4. 基本的に出勤だが、不定期にテレワークを利用
5. 職場はテレワーク利用が可能だが、利用したくない
6. テレワーク利用は困難(業務内容が即さない)
7. わからない

副業

3-9 副業(本業以外の仕事で収入を得ること)の実施状況について、該当するもの全てに回答してください。

1. 副業に関心が無く、行っていない
2. 副業に関心があるが、行っていない
3. 本業とは別の企業・法人に雇用されている(主に専門知識や経験を生かす目的等)

4. 本業とは別の企業・法人に雇用されている(主に収入目的等)
5. 本業とは別に、個人で事業を実施している(主に専門知識や経験を生かす目的等)
6. 本業とは別に、個人で事業を実施している(主に収入目的等)
7. 本業とは別に、NPO 活動・地域活動などの社会貢献活動を実施している
8. その他(具体的に)

(前問で「2」と回答した人)

3-10 副業に向けた行動について、最もあてはまるものを回答してください。

1. 副業に向けて具体的に準備している(事業企画・取引先・勤務先候補との調整等)
2. 副業に関する情報収集をしている
3. 特に活動していない(関連ニュースを見る程度)

(前々問で「2」を回答した人)

3-11 副業に関心があるが行っていない理由として、該当するもの全てに回答してください。

1. 本業の勤務先で副業が許されていないため
2. 本業の勤務先での人事評価等に影響しないか不安
3. 本業と副業を両立できるか不安
4. 適当な副業が見つからない
5. どのような副業に取り組めばよいかまだ検討中
6. その他(具体的に)
7. わからない

(全ての就業者に質問)

3-12 (本業の)勤務先の制度で、副業は許容されていますか。

1. 許容されている
2. 例外的に許容される場合がある
3. 禁止されている
4. 許容・禁止が曖昧である
5. 制度を知らない・わからない
6. その他(具体的に)

(前問で「2」か「3」を選択した人に質問)

3-13(本業の)勤務先の制度で、副業を許容しない理由は何だと考えますか。(最大3つ)

1. 副業をどの程度許容して良いか判断がつかないから
2. 生産性や売上が落ちると考えているから
3. 人材流出の懸念があるから
4. 労務管理が困難だから(通勤手当、労災の適用範囲等)
5. 利益相反や情報漏洩を懸念しているから
6. その他(具体的に)
7. わからない

リカレント教育

(全ての就業者に質問)

3-14 リカレント教育(仕事に活用するための学び直し)についてお聞きします。リカレント教育の現在の実施状況について、最もあてはまるものを回答してください。

1. 大学等(大学院・通信制大学、専門学校)に入学して学び直しをしている
2. 定期的な受講(各種スクールや定期的なオンライン講座など)により学び直しをしている
3. 単発のセミナー・研修等に参加して学び直しをしている
4. 独学(書籍や参考書等)で学び直しをしている
5. 何もしていない

(前問で「5」以外を回答した人)

3-15 リカレント教育(仕事に活用するための学び直し)の内容について、あてはまるものを全て回答してください。

1. 専門的な資格の取得
2. 経営・ビジネスに必要な知識や能力の向上
3. 英語などの語学力の向上
4. マネジメント力の向上
5. 学位の取得
6. プログラミングなどのIT関連スキルの取得
7. リベラルアーツ(一般教養)の学習

8. その他

(前々問で「5」以外を回答した人)

3-16 あなたがリカレント教育に取り組んでいる理由としてあてはまるものを全て回答してください。

1. 現在の仕事に活かすため(業務効率化や質の向上)
2. 昇進・昇給のため
3. 資格取得のため
4. 今後のキャリアの選択肢を広げるため(新たなチャレンジ)
5. 転職活動に備えるため
6. その他
7. 特にない

(全ての就業者に質問)

3-17 あなたがリカレント教育(仕事に活用するための学び直し)を行うにあたって障害となるものについて、あてはまるものを回答してください。(最大3つ)

1. 費用がかかりすぎる
2. 仕事が忙しくて余裕がない
3. 家事・育児が忙しくて余裕がない
4. 学び直しの結果が社内で評価されない
5. 休暇取得・早退等が会社の都合でできない
6. 自分の目指すべきキャリアがわからない
7. 適当な教育訓練機関、手段が見つからない
8. その他
9. 特にない

勤務状況

3-18あなたの勤務状況についてお伺いします。感染症拡大前(2019年12月)と比べて、労働時間はどのように変化しましたか。感染症拡大前(2019年12月)の労働時間を100とした場合の数字でお答えください。例えば、労働時間が2割減少した場合は「80」、1.3倍になれば「130」となります。上限を「200」としてお答えください。

3-19 感染症拡大前(2019年12月)と比べて、仕事の生産性はどのように変化したと感じましたか。感染症拡大前(2019年12月)の仕事の生産性を100とした場合の数字でお答えください。例えば、仕事のパフォーマンスが2割減少した場合は「80」、1.3倍になれば「130」となります。上限を「200」としてお答えください。

3-20 感染症拡大前(2019年12月)と比べて、1週間の中で通勤にかかる時間はどのように変化しましたか。

1. 概ね変化無い(5%減少～5%増加)
2. やや減少(6%～20%減少)
3. 減少(21%～50%減少)
4. 大幅に減少(51%以上減少)
5. やや増加(6%～20%増加)
6. 増加(21%～50%増加)
7. 大幅に増加(51%以上増加)
8. わからない

4【結婚・子育て(子育て世代等)】

<以下、子育て世帯>

4-1 家族に関することをお伺いします。感染症拡大前(2019年12月)と比べて、配偶者(あなたの夫又は妻)の働き方に変化はありましたか。該当するもの全てに回答して下さい。

1. テレワークの利用・利用増加
2. 労働時間の柔軟化(時差出勤、フレックスタイム等)
3. 労働時間の減少
4. 労働時間の増加
5. その他の変化(具体的に)
6. 変化は無い

4-2 感染症拡大前(2019年12月)と比べて、家族と過ごす時間はどのように変化しましたか。

1. 概ね変化無い(5%減少～5%増加)

2. やや減少(6%~20%減少)
3. 減少(21%~50%減少)
4. 大幅に減少(51%以上減少)
5. やや増加(6%~20%増加)
6. 増加(21%~50%増加)
7. 大幅に増加(51%以上増加)
8. わからない

4-3 現在の家族と過ごす時間を今後も保ちたいと思いますか。

1. 保ちたい
2. どちらかというと保ちたい
3. どちらかというと保ちたくない
4. 保ちたくない
5. わからない

4-4 感染症拡大前(2019年12月)と比べて、家事・育児に費やす時間はどのように変化しましたか。感染症拡大前(2019年12月)の家事・育児時間を100とした場合の数字でお答えください。例えば、家事・育児時間が2割減少した場合は「80」、1.3倍になれば「130」となります。上限を「200」としてお答えください。

<未婚の方>

4-5 感染症拡大前(2019年12月)と比べて、結婚への関心に変化はありましたか。

1. 関心が高くなった
2. 関心がやや高くなった
3. 変わらない
4. 関心がやや低くなった
5. 関心が低くなった

5【地方移住】

<東京圏在住者に質問>

5-1 現在の地方移住への関心の程度について回答して下さい。

1. 強い関心がある
2. 関心がある
3. やや関心がある
4. あまり関心がない
5. 全く関心がない

<全員に質問>

5-2 地方移住(都市圏から地方圏(大都市よりも規模の小さい都市圏を含む)への転居)についてお聞きします。この半年の間で、地方移住に向けて具体的な行動をしましたか。当てはまるものをすべて選んでください。

1. 具体的に行動していない
2. 移住先を決定し、具体的な引っ越し予定がある
3. 移住先での就職情報を調べた
3. 移住先での住宅情報を調べた
4. 移住先の学校情報を調べた
5. 移住のための相談窓口を利用した
6. 移住に向けて家族と具体的な相談をした
7. 引越資金集めを始めた
8. その他(具体的に)
9. 既に地方移住した

<前々問で地方移住に関心がある(1、2、3)又は前問で地方移住した(9)と回答した人に質問>

5-3 地方移住へ(やや)関心がある/移住した理由として、あてはまるものを全て回答してください。

1. テレワークによって地方でも同様に働けると感じたため
2. 買物・教育・医療等がオンラインによって同様にできると感じたため
3. 現住地の感染症リスクが気になるため
4. 感染症を契機に地元に戻りたいと感じたため
5. 人口密度が低く自然豊かな環境に魅力を感じたため

6. ライフスタイルを都市部での仕事重視から、地方での生活重視に変えたいため
7. 感染症を契機に将来のライフプランを考え直したため
8. テレビやネット等で地方移住に関する情報を見て興味を持ったため
9. 感染症と関係ない理由
10. その他
11. 特にない
12. わからない

(Q5-1で地方移住に関心がある(1、2、3)とした人に質問)

※前問で地方移住した(9)と回答した人は除く

5-4地方移住や郊外への移住に関心はあるが実行していない理由として、地方移住にどのような点で懸念をもっていますか。あてはまるものを全て選んでください。

1. 仕事や収入
2. 子育て・教育環境
3. 医療・福祉施設
4. 買物や公共交通等の利便性
5. 人間関係や地域コミュニティ
6. 移住資金の不足
7. まだ具体的に検討していない
8. その他(具体的に)
9. 特にない

6 【学生(大学生・高校生等本人)の方】

<学生>

6-1 学生の方への質問です。感染症拡大を契機として、学習意欲(前向きに学習に取り組もうという気持ち)は変化しましたか。

1. 高まった
2. やや高まった
3. 概ね変化無い
4. やや低下した

5. 低下した
6. わからない

6-2 将来の進路に関してお聞きします。感染症拡大前(2019年12月)に比べて、東京圏(東京、神奈川、千葉、埼玉)で就職するか、それ以外で就職するかの選択・希望に変化はありましたか。

1. 変わらない
2. 東京圏での就職志向が高まった
3. 地方都市での就職志向が高まった
4. 地方(都市部以外)での就職志向が高まった
5. わからない

<以下、全員>

7【その他】

7-1 感染症の影響下において、新たに挑戦したり、取り組んだりしたことはありますか。該当するもの全て選択してください。

1. 特に挑戦したり、取り組んだりしたことはない
2. ビジネス(起業、副業、新商品開発等)に新たに挑戦した
3. ビジネス関係の勉強(資格取得、スキルアップ、転職情報収集等)に新たに取り組んだ
4. 教育・学習(新しい分野、技術、語学等)に新たに取り組んだ
5. オンラインでの発信(YouTube等)、オンラインでの交流(Zoom等)に新たに挑戦した
6. 本格的な趣味(芸術、料理等)に新たに挑戦した
7. 今までやれなかった日常生活に関わること(家の修繕等)に新たに取り組んだ
8. わからない

7-2 感染症拡大前(2019年12月)に比べて不安が増していることがありますか。ある場合はどのような不安か、あてはまるもの全てを回答してください。

1. 不安はあるが感染症拡大前から増してはいない
2. 不安は感じていない
3. 生活の維持、収入に関する不安

4. 仕事に関する不安
5. 結婚、家庭に関する不安
6. 健康に関する不安
7. 子どもの育児、教育に関する不安
8. 親などの生活の維持、支援に関する不安
9. 人間関係、社会との交流に関する不安
10. 地球環境、地球規模の課題に関する不安
11. 将来に対する全般的な不安
12. わからない

7-3年収要件等(※)を満たせば、これまで仕事をしていなかった人も、2ヶ月～6ヶ月の間、無料で職業訓練を受けることができ、月額10万円の給付を受けられる「求職者支援訓練」について、知っていましたか。

1. 知っている
2. 知らない

(※)以下の全てを満たす方が対象

・本人収入が月12万円以下

※シフト制で働く方など。令和3年9月30日までの特例措置(※期限は令和4年3月末まで延長予定)

・世帯全体の収入が月25万以下

・原則として、全ての訓練実施日に出席すること

・週20時間以上仕事をしておらず、ハローワークに求職登録し、職業訓練などの支援が必要と認められること

<学生以外の方に質問>

7-4あなたは、「求職者支援訓練」の支給要件である次の2つの年収条件両方にあてはまりますか。条件1. 本人収入が月12万円以下、条件2. 世帯全体の収入が月25万円以下

1. 条件2つともあてはまる
2. 条件1つのみあてはまる
3. 条件にあてはまらない

(前問で1と回答した人に質問)

7-5あなたは、「求職者支援訓練」を利用したいと思いますか。

1. 利用したい
2. 利用したいと思わない
3. わからない

<雇用者(自営業、内職は除く)に対する質問>

7-6 2020年4月以降、あなたは感染症の影響で休業した(勤務短縮含む(注))経験はありますか。

1. 休業の経験がある
2. 休業の経験はない

(注)休業には、一定期間、仕事を完全に休むことだけでなく、

- ・基本勤務日の短縮(例:週5日から3日)、
- ・1日当たりの基本勤務時間の大幅短縮(例:1日7時間労働から、1日3時間労働への短縮)
- ・(日々雇用だが)半年以上同一条件で働いており、コロナがなければ同様の勤務を続ける予定だったが、雇止めになった等を含む。

(休業した人(前問で「1」と回答)への質問)

7-7 休業した際に、給料の減少や企業からの補償(休業手当)等がありましたか。

1. 補償があった(休業手当が出た、勤務時間の減少ほどは基本給が減らなかった等)
2. 補償があったか分からない(給料がやや減少したが、内訳が分からない)
3. 補償は無かった(勤務時間の減少分だけ(基本給も含めて)給料が減少した)

<休業した人への質問>

7-8 休業したが、企業から休業手当を受けることができなかった場合、個人が政府に申請し、一定の条件を満たす場合は、政府から休業支援金を受け取ることができる制度(新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金)について、利用したことはありますか。最もあてはまるものを回答してください。

1. 要件を満たしてないと考えて利用しなかった
2. 申請に手間がかかると考えて利用しなかった
3. 制度をよく知らないので、利用しなかった
4. その他の理由で利用しなかった
5. 利用したことがある

8【属性情報等】

<配偶者のいる方のみ>

8-1 配偶者の職業についてお答えください。

1. 正規雇用(労働契約の期間の定めがなく、労働時間がフルタイムのもの)
2. 非正規雇用(正規雇用以外のパート、アルバイト、契約・派遣社員、有期労働者など)
3. 会社などの役員
4. 自営業(手伝いを含む)
5. 内職・在宅ワーク
6. 学生(高校生、専門学校生、短大生、大学生、大学院生等)
7. 学生ではなく就業していない(求職中)
8. 学生ではなく就業していない(求職していない)

<以下、学生のみ>

8-2あなたの学業についてお答えください。

1. 高校生(年生)
2. 高等専門学校(高専)生(年生)
3. 専門学校生
4. 短大生(年生)
5. 大学生(年生)
6. 大学院生(年生)
7. その他(具体的に)

8-3通学している学校の所在地はどこですか。

所在地の都道府県(47 都道府県プルダウン)

<学生を除く全員>

8-4あなたの最終学歴についてお答えください。

1. 中学卒
2. 高等学校卒

3. 専門学校卒
4. 短大・高専卒
5. 大学卒
6. 大学院修了

<以下、就業者のみ>

8-5あなたの勤務先の企業等の業種について、最もあてはまるものをお答えください。

1. 農林漁業
2. 建設業
3. 製造業
4. 卸売業
5. 小売業
6. 金融・保険・不動産業
7. 運輸業
8. 情報通信業
9. 電気・ガス・水道業
10. 公務員
11. 教育、学習支援業
12. 医療、福祉
13. 保育関係
14. その他のサービス業(対人サービス)
15. その他のサービス業(対事業所サービス)
16. わからない・その他

8-6あなた自身の仕事(職種)について、最もあてはまるものをお答えください。

1. 管理職(役員含む)
2. 営業
3. 経理
4. 人事・総務
5. その他の事務職
6. 医療・福祉・介護職
7. 生産工程(製造、修理、検査等)
8. IT専門職
9. 建設・機械技術職
10. その他の技術職・専門職(法務・デザイン等)
11. 店舗での販売・接客等
12. その他のサービス職

13. わからない・その他

8-7勤務地はどこですか。

勤務地の都道府県(47 都道府県プルダウン)

8-8現時点の通勤時間(片道)を選択してください。

プルダウン. 通勤不要 or 10分単位で選択(最大は「3時間以上」)

8-9 勤務先の企業規模(従業員数)について、最もあてはまるものをお答えください。

1. 1人(個人事業主)
2. 2~29人
3. 30~299人
4. 300~999人
5. 1,000人以上

<以下全員>

8-10あなたの世帯は何人ですか。あなたご自身を含めてお答えください。

()人

8-11あなたは、SNS(Facebook、Twitter、LINE など)を使用していますか。

1. 毎日使用している
2. 時々使用している
3. たまに使用している
4. 使用していない

8-12 あなたの世帯全体の年間収入(税・社会保険料込)はおよそどのくらいですか。

1. 100万円未満
2. 100万円以上 200万円未満
3. 200万円以上 300万円未満
4. 300万円以上 400万円未満
5. 400万円以上 500万円未満
6. 500万円以上 600万円未満
7. 600万円以上 700万円未満
8. 700万円以上 800万円未満
9. 800万円以上 900万円未満
10. 900万円以上 1000万円未満

11. 1000 万円以上 2000 万円未満
12. 2000 万円以上 5000 万円未満
13. 5000 万円以上 1 億円未満
14. 1 億円以上 3 億円未満
15. 3 億円以上

8-13 あなた自身の年間収入(税・社会保険料込)はおよそどのくらいですか。

1. 100 万円未満
2. 100 万円以上 200 万円未満
3. 200 万円以上 300 万円未満
4. 300 万円以上 400 万円未満
5. 400 万円以上 500 万円未満
6. 500 万円以上 600 万円未満
7. 600 万円以上 700 万円未満
8. 700 万円以上 800 万円未満
9. 800 万円以上 900 万円未満
10. 900 万円以上 1000 万円未満
11. 1000 万円以上 2000 万円未満
12. 2000 万円以上 5000 万円未満
13. 5000 万円以上 1 億円未満
14. 1 億円以上 3 億円未満
15. 3 億円以上

8-14 あなたの世帯全体の金融資産(預貯金や有価証券等)は、およそどのくらいですか。

(借金を引く前の額をお答えください)。

1. 100 万円未満
2. 100 万円以上 300 万円未満
3. 300 万円以上 500 万円未満
4. 500 万円以上 700 万円未満
5. 700 万円以上 1,000 万円未満
6. 1,000 万円以上 2,000 万円未満
7. 2,000 万円以上 5,000 万円未満
8. 5,000 万円以上 1 億円未満
9. 1 億円以上 3 億円未満
10. 3 億円以上

8-15 出身地はどこですか。

出身の都道府県(プルダウン. 47 都道府県、海外、わからない)

(※) 出生地、小さな頃に暮らした地域、実家のある地域等から主な都道府県を1つ選択。現住所と同じでも可。